

## <クリスマス・ドロップ> 航空自衛官 島民への人道支援物資を提供 *JASDF provides humanitarian supplies for 71st OCD*

December 1, 2022

By Machiko Arita  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)横田基地で11月21日、航空支援集団司令部の自衛官からクリスマス・ドロップ作戦で島民に届ける人道支援物資を受け取る第374空輸航空団のリーダーシップと第36空輸中隊の空兵。

クリスマス・ドロップ作戦は、米国防総省が行う人道支援・災害救助訓練で最も長い歴史があり、太平洋にある55以上の島々に生活支援物資を届ける。こうした作戦を通じ、米国とパートナー国は相互運用性の向上を図り、実際の緊急事態への備えを維持する。



1

(写真2)クリスマス・ドロップ作戦への出発を前に、航空自衛隊航空支援集団司令部の自衛官から届けられた人道的支援物資を受け取る第36空輸中隊ロードマスターのメーガン・アービン上級空兵。

1952年に始まったクリスマス・ドロップ作戦は今年で71年目を迎え、米国防総省が行う人道支援のための空輸活動としては最も歴史が長いものとなっている。米空軍は、ミクロネシア連邦やパラオ共和国など、南東太平洋にある55以上の離島に食糧や物資を梱包して届ける活動を毎年行っている。



2

(写真3)クリスマスドロップ作戦で島民に届けるための支援物資を受け取った後、航空支援集団防衛部防衛課の関 隆宏2等空佐と話す第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐(左)。



3